

## 地域連携 NEWS

健康長寿医療センターは  
迅速・入念な  
コロナ検査体制で  
安全な  
医療を提供します。

### ■ 連携検査外来 (PCR検査) 発熱外来について

担当 副院長 時村 文秋  
感染症内科医長 小金丸 博

コロナ PCR 検査は発熱外来と連携検査外来の2系列で対応しています。

#### • 発熱外来

主に保健所からの依頼に対応。  
2月13日より救急外来に設置。

#### • 連携検査外来

連携医療機関からの依頼に対応、4月14日から研究所1階で開始。現在、月・水・金に10枠/日で実施。紹介状と問診票をFAXでいただいております。大変、感謝しております。9月4日までに328件の検査を実施し、陽性23件、陽性率7.0%です。陽性の場合は電話連絡も行っています。板橋区の医療機関からの依頼が約90%、豊島区からの依頼が約8%です。

### ■ 都民への貢献 ホテル3か所への看護師部隊を派遣

看護部長 太田 日出

第1波の真ただ中、新型コロナウイルス感染症軽症者受け入れホテル2施設に26名の看護師を派遣しました。その際の当院看護師の活動・姿勢等が評価され、7月初旬、再度の看護師派遣要請を受けました。

ホテルでは、電話やモニターによる入所者の健康観察と、心身のトラブルへの24時間対応が看護師の役割です。様々な場面で知識に基づいたケアと、事務職員等とのチームにおけるメンバーシップが求められるため、一定の経験を積んだ看護師を3施設に計30名派遣し、感染拡大予防に貢献しております。



入念な検査体制で安全な医療を提供します

## 全自動遺伝子解析装置導入

センター長 許 俊鋭

- ◎ 夜間・休日を含め 1 時間で PCR 検査結果が得られる
- ◎ インフルエンザと新型コロナ感染の同時検査が可能
- ① 当センターは、東京都の CCU ネットワーク・大動脈スーパーネットワーク・急性期脳卒中搬送体制に参画し、急性心筋梗塞・急性大動脈解離・急性期脳卒中治療を 24 時間体制で実施しています。入院 1 時間以内にコロナ感染を鑑別し安全な緊急手術・カテーテル治療体制を構築しています。
- ② インフルエンザのシーズンを迎え、コロナ感染と鑑別することは最大の課題です。インフルエンザと新型コロナの同時検査により、一般外来や救急外来で確実に両者の鑑別診断を行い、安全な入院・外来の診療体制を構築しました。



PCR 法を原理としたバイオメリュー社の Film Array システムを導入し、1 本の鼻咽頭ぬぐい液から簡易な前処理で新型コロナウイルスやインフルエンザなど 21 種の呼吸器疾患に係わる病原微生物を約 1 時間で報告できます。

臨床検査科技師長 佐藤 芳雄

豊島病院との連携

## 新型コロナ肺炎に対する ECMO を用いた集中治療について

呼吸器外科部長 安樂 真樹

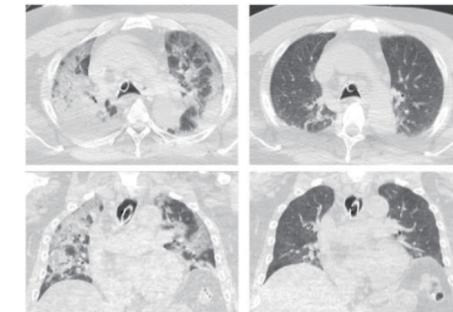
当センターは第二種感染症指定医療機関である豊島病院と連携して、新型コロナ肺炎重症例のなかでも、特に ECMO 治療を要する症例の受け入れを行ってまいりました。

いわゆる流行第 1 波と呼ばれた今年 3 月下旬から 4 月の段階で、感染症内科、心臓血管外科、呼吸器内科、循環器内科の関連診療科、集中治療部（看護部）、ME 部等を中心に重症治療チームを作り、治療体制を整えました。

重症症例では気管内挿・抜管や、気管支鏡によるドレナージ、腹臥位療法での体位変換、深鎮静状態の患者看護など、医療従事者側の感染リスクも非常に高く、治療にあたっては感染防護にも細心の注意を払ってきました。个人防护対策の徹底と、迅速なコロナ関連検査を可能とした院内整備も幸いし、これまで院内感染は生じておりません。

9 月下旬現在まで計 3 名の重症患者に Veno venous ECMO（呼吸 ECMO と呼ばれる）を導入し、大きな障害を残すことなく皆さん自宅退院可能なまで回復されています。

図 1 治療前後の CT 画像



当院転院時 ECMO 導入前 ECMO 離脱後 4 日目

図 2 ECMO 治療中の様子



図 3 豊島病院でのリハビリ歩行の様子



図 4 豊島病院感染症内科 足立拓也先生(左)とエクモ治療から回復された患者さん(右)

